



後藤英鵬 書 (県三)

第44号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会 北嶺会  
静岡県富士宮市宮北町230 (北高内) 電話 (0544) 27-2533 (代)

編集 北嶺会広報委員会  
印刷 (株)きうちいんさつ

北嶺会会員の皆様、いかがお  
過ごでしょうか。  
いつも御理解・御協力をいた  
だき誠にありがとうございます。  
さて、私は昨年の北嶺会定時総  
会において新会長に選任してい  
ただきました渡邊です。  
西川前会長の後を継ぐという  
ことは、とても大変な事である  
と自覚していますが、自分なり  
に出来る事を一つ一つやって  
いきたいと考えています。  
北嶺会々員の結びつきを強化  
する事を最優先とし、各学年ご  
と、また地域ごと(中学校区な  
ど)の繋がりを探りながら、北



嶺会への意識を深めていただけ  
るよう努力していきます。その  
事が北嶺会の財政をも良い方向  
に導いていけるものと考えてい  
ます。  
具体的な施策は会員皆様の意  
見に耳を傾けながら役員会で決  
めていきたいと考えています。  
次に北高との連携、コミュニ  
ケーションを密にし、北高への  
支援を実のあるものにしていき  
たいと考えています。  
いずれにしても会員皆様のご  
協力なしでは出来ません。私  
自身、母校北高に恩返しをする  
つもりで北嶺会々長という大役  
を受けさせていただきました。  
微力ではありますが頑張ります。  
どうか母校北高のために少し  
でもお力を貸していただけます  
ようよろしくお願い申し上げます。

… 開校当時 (1938年) の校舎正面と講堂 …



講 堂



校舎正面



現在の校舎正面

2017 北嶺会総会 案 内

と き：平成29年5月28日(日)  
と ころ：大富士交流センター  
会 費：3,000円

受 付：午後 1 時  
総 会：午後 2 時  
懇親会：午後 3 時

# 平成29年度 新役員紹介



## ●平成29年度 新役員

**前列右側より**  
 校内事務局 佐野 明宣  
 幹事長 後藤 修一  
 前校長 望月 近美  
 会長 渡邊 一敏  
 副会長 佐野 勝幸  
 副会長 牧野 利一  
 副幹事長 加茂 哲三  
 40年度卒

本年度より新役員体制になり新たに女性の役員も増え女性目線での考えや、インターネットを自在に操り、富士宮北高の現状などを発信できる役員、先輩方の意見や若い世代の役員の考えなど、ざつくばらんな意見を取り入れ少しでも母校北高の応援をしたいと思えます。

また、卒業生皆まで北嶺会の大きな輪を作っていきたいと役員全員が思っていますので、皆さんの声も届けてください。  
 (渡辺会長)

## ●新役員より

**副会長 佐野 勝幸**

母校北高が八十周年を迎えます。微力ではありますが、渡辺会長と共に北高の未来に向けお役に立てれば幸いです。

**副会長 牧野 利一**

北嶺会には、長い歴史と立派な先輩方が多く、この伝統を次世代に繋げる為に、微力ながら勤めさせて頂きます。

**副会長 佐藤 和也**

会計担当副会長として、北嶺会運営に微力ながら貢献させていただきます。

**副会長 植松 智美**

女性の参加が増えていくよう、ささやかですが尽力したいと思っております。

**幹事長 後藤 修一**

幹事長として微力ではありますが役員の方々と力を合わせて北嶺会運営にあたらせていただきます。

## ●常任理事

**2列目右側より**  
 H3年度卒 渡邊 暢彦  
 常任理事 朝倉 佐智子  
 59年度卒 安喰 由紀子  
 副会長 植松 智美  
 62年度卒 高野 秀次  
 常任理事 有賀 正治  
 54年度卒  
**3列目右側より**  
 常任理事 H6年度卒 田邊 元裕  
 常任理事 H2年度卒 鍋田 信太郎  
 常任理事 H10年度卒 勝又 重忠  
 48年度卒 佐藤 和也  
 55年度卒 鈴木 豊秀  
 副会長 計 佐藤 和也

**副幹事長** 鈴木 秀幸  
 61年度卒  
**監査** 佐野 文則  
 47年度卒  
 常任理事 久保田 明宏  
 54年度卒  
 常任理事 篠原 晃信  
 59年度卒  
 常任理事 遠藤 千尋  
 59年度卒

# 北嶺会入会式

二月二十八日、二三五名の卒業生が北嶺会に入会しました。式において生徒代表が入会の挨拶。式のあと記念講演として、篠原寛氏（昭和四十三年度卒）より『旅立つ君たちへ〜一先輩として』と題しての講演が行われました。

## 生徒代表挨拶

松永晃奈

降り注ぐ日差しは日ごとに温かくなり、旅立ちと別れの季節を迎えています。

三年前、富士宮北高校の門をくぐり、中央道の桜の美しさに感動したあの日が、昨日のように思い出されます。毎日の授業に真剣に取り組んだ日々や、皆で楽しむことができた北嶺祭、陸上競技部としてグラウンドを駆けた日々、常に仲間と過ごしてきた時間は、いつになっても心の中で輝き、一生



忘れることのできないかけがえない宝物です。

私たち二三五名それぞれが、有意義な高校生活を送ることができましたのも、ひとえに先生方の御指導と同窓会の皆様方の数々の御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今の社会に目を向けると、昨年、選挙権が十八歳に引き下げられてからの、初の選挙がありました。今まで政治に関わることのなかった私たちが、その権利を手にし、日本の未来を担うことになったのです。今までは、聞き流していたニュースなどにも関心を向け、政治に対して真剣に考えるようになりました。日本の現状を知るように努め、他人事のように考えず、自分自身で意見を持ち、社会に貢献する力をさらに伸ばしていきたいと考えています。自分の夢を実現するために、誠実に堅実に努力することをお

誓いするとともに、今後とも御指導を賜りますようお願い申し上げます。入会の挨拶といたします。

## 記念講演

### 旅立つ君たちへ

——一先輩として——



篠原 寛氏

篠原氏は昭和四十三年度の卒業生です。富士宮信用金庫の理事長を四年間務め、昨年退任する。現在は富士宮商工会議所副会頭の要職にあり、富士宮市の経済の発展に大変尽力されています。

記念講演は、前段として自己紹介と金融機関について話されました。本題として、『仕事・経営に対する考え方』『富士宮・富士の魅力について』『まとめ』と話を進められた。

第一に『仕事・経営に対する考え方』の中で大切な事として次の点を語った。好奇心を持つ

事、若い時（特に三十代迄に）に苦勞をする事、常に先を見て考える事、今起きている事を全て受け入れる事、常に前向きに考える事、時間の使い方をよく考える事、まず行動する事、夢を持つ事、健康の事等々を体乗りに出し、熱く語りかけた。

第二に『富士宮・富士の魅力について』では、富士山の恩恵を受け自然に大変恵まれ、気候も温暖ですごしやすい地域である事、食べ物も豊富でおいしく、魅力たっぷりである事と、富士宮・富士を語る。

氏は、将来はこの富士宮・富士地域に帰ってきて欲しい。農業・観光と魅力あふれる資源を生かし、もっと発展させて欲しいと熱弁をふるった。

『まとめ』の中で、自分自分の器を決めない事、自分を肯定的に見る事。そのままの自分を受け入れる考え方をすることが



大切であると話される。そして、卒業してから現在迄の人生の中で特に強く感じている事として「高校時代の同窓生は大事にして欲しい」と卒業生に訴えかけた。

講演の最後に、「皆さんは一人ひとり素晴らしい可能性を秘めている。富士宮北高生であった事を誇りに、好奇心を持って色々な経験を積み自分の力を信じ、目標に向かって進んで欲しい。

そして、ふるさと富士宮・富士を日本一元気な街になるような皆様の若い発想力とエネルギーを期待しております。」と結んだ。

篠原氏の講演は、氏の熱い思いが良く現れていて、卒業生の心に充分届いたと感じられた。

氏は、講演後も「好奇心」は人間の成長にとって一番欠かせないものだと語っていた。

総会



校長あいさつ



新会長あいさつ



会場風景



受付風景

北嶺会総会・懇親会

平成二十八年度

平成二十八年五月二十二日(日)、平成二十八年度の北嶺会と懇親会がクリスタルホール・パテオンを会場とし開催されました。今回は総会において、西川会長から渡辺新会長への会長交代がありました。その後、当番幹事(昭和五十四年度卒)の尽力による懇親会が盛大に行われました。

懇親会



▲旧執行部あいさつ



27年度会計報告

収入の部

入会金	2,856,000
会費	420,000
雑収入	151,693
繰越金	1,752,234
合計	5,179,927

支出の部

事業費	1,490,000
運営費	1,660,781
管理費	106,351
収支剰余金	606,795
積立金	1,300,000
その他	16,000
合計	5,179,927



静岡県立富士宮北高校同窓会

北嶺会

北嶺会・同窓会ホームページ

hokureikai.jp

Facebook



静岡県立富士宮北高校同窓会

北嶺会

HOKUREI Facebook

今現在も沢山の同窓生の方に見ていただいています。

同窓生の皆様、ホームページとフェイスブックを通して同窓会の輪と絆を深め、母校を応援しぜひ、たくさん「いいね」ボタン押して頂けたら嬉しいです！

記事も自由にシェアしていただいても構いません。

皆様の近況報告や、同窓会開催の告知、同窓生の活躍の様子など、節度ある範囲で、活用いただけましたら幸いです。(過度な宣伝等は、削除させて頂くことがあります)

また、卒業時と住所・名字等の変更がありましたら「北嶺会」会員名簿の変更・修正に関する個票(別紙添付・ホームページ) FAX 0544-23-8021 または郵送でお願いいたします。



関東北嶺会だより

第四十三回 親睦会・墓参のお誘い

代表世話人 須藤 哲志

開催日 五月二十七日(土)

関東北嶺会に、いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、本年も恒例の親睦会及び本校創立者・望月軍四郎先生の青山墓地墓参を、本部役員のご出席を仰ぎ開催する運びとなりました。

本会は本部役員から母校や故郷の楽しいお話で大変有意義です。

初めて方でもご心配ありませんので気軽に参加をお待ちしております。

皆さま、時々思い出しませんか北高の三年間。

満開の桜並木の校門をくぐった入学式の日。そして、卒業式をひかえたクラスの黒板一面に誰が書いたか分からないサヨナラの言葉。

いつも、北の空を見上げると嶺峰富士が私達の未来に幸せを下さいました。三年間、家族・先生・学友に見守られ、幸せな

卒業で感謝でした。

それぞれの思を残し関東に出られた皆さま、人生様々な節目にこそ関東北嶺会に結集し故郷を語り同窓の仲間と、懐かしい嶺峰高き富士の嶺」の校歌を歌い心を和ませるの必要があります。

母校の校歌は早大の「都の西北」の作詞者・相馬御風氏で、先生は「良寛さま研究家で、「カチューシャの唄」「春よこい」「かたつむり」などの作詞でも知られてます。

さて、母校、開校は昭和十二年でさらなる、一〇〇年を迎えるためにも卒業生の強い結束でご支援をいただくことが一番だと思いますか。

皆様お力をお貸しください。名簿等の不備で案内状をお送り出来ない場合があります。ご面倒ですがお気軽に幹事長まで、お問合せください。

詳しい資料をお送り致します。遠藤幹事長携帯電話 090-11998-5047

■青山墓地墓参に

参りませんか。

今ある自分に感謝し本校創立者・望月軍四郎先生の青山墓地墓参にご一緒に参りませんか。当日、ご都合等で墓参出来ない方は直接懇親会場にお出掛け下さい。

○青山墓地墓参(自由参加)

午前十時四十分(雨天決行)

集合：青山墓地管理事務所

住所：港区南青山 二一三二二二

○懇親会場所 会費

開場：十一時三十分

場所：霞が関ビル三十五階

「東海大学会館」

相模の間

住所：千代田区霞が関 三二二一五

電話：03-3581-0121

最寄駅：地下鉄銀座線虎ノ門駅

十一番出口徒歩八分

※経路複雑 三十六階建

の霞が関ビルを目標

会費：男性七千九百円

女性・二十歳以下

学生三千円

■田子浦支部だより

田子の浦支部支部長

泉立第一期卒 斎藤 忠久

田子の浦支部結成から今年で十九年です。

毎年行われている親睦会は楽しく会員一人ひとりの心の絆を深めています。その親睦会の中で学校訪問をしたいと云う話が出、実行しました。

昨年四月二十五日に母校訪問をしました。期待した桜の花は終わっていましたが、車から降りると皆懐かしさのあまり無言でした。桜並木、グラウンド、テニスコート、野球場、体育館、などなど目を見張るものばかりです。

特に北嶺会館には心を打たれました。会館の中に入ると一階は会議室、二階三階は設備の行き届いた合宿所、こんな

な立派な会館を建てられた先輩や役員に改めて感謝致します。

今年七名の参加者ですがほつほつと咲いている桜の花に思はず顔がほころんできました。この感動を多くの同窓生に味わってほしいと思います。

又、渡辺同窓会会長との歓談の中で、渡辺会長が、今北嶺会運営資金が足りなく苦慮しているとの話があり、当面は卒業生の会費納入により賄っていると云う現状を話され、役員だけの問題ではなく同窓生みんな考えて行かなくてはならない事かと感じました。北嶺会会費の使途についての説明を聞き心動かされ一人でも多くの人達の協力が得られるよう祈ります。

●参加者

- 二十八年度卒 斎藤忠久
- 二十九年度卒 市川 緑
- 三十一年度卒 村松和欣
- 三十七年度卒 吉野文雄
- 三十七年度卒 市川 聡
- 五十四年度卒 外山光貞
- 五十四年度卒 佐野智昭



# 北高創立 80 周年記念行事

— 平成 29 年 11 月 22 日 記念式典開催 —

記念講演講師として

## 水鳥寿思氏が来校!!

アテネ五輪 体操男子団体金メダリスト  
リオ五輪 体操男子団体金メダル監督



### ● 水鳥氏プロフィール

静岡市出身。元体操選手  
の両親が実家で体操クラブ

を経営しており、六人いる兄弟も、そのほとんどが体操選手というまさに体操一家で育つ。華々しい成績の兄弟に対し、結果が出ない苦悩の中、関西高校進学をきっかけに実力をつけ始める。三度にわたる大怪我で選手生命を危ぶまれたが、克服して日本代表に選出。

日体大を卒業し徳洲会体操クラブに在籍中の二〇〇四年に行われたアテネ五輪では団体決勝でつり輪に出場したほか、世界選手権でも数々のメダルに輝いた。ロンドン五輪の出場を目指したが最終予選を最後に引退。史上最年少の三十二歳で日本体操協会体操男子監督・強化本部長に抜擢され、二〇一五年世界選手権では三十七年ぶりの団体金メダル、リオ五輪では自身で選手として出場し獲得したアテネ五輪以来となる十二年ぶりの団体優勝に導いた。

主な役職：慶應義塾大学総合政策学部 専任講師  
公益財団法人日本体操協会 男子強化本部長  
公益財団法人日本体操協会 常務理事  
公益財団法人日本オリンピック委員会 選手強化本部 部会員  
公益財団法人日本オリンピック委員会 専任コーチングディレクター  
株式会社河合楽器製作所 カワイ体育教室チーフアドバイザー

略 歴：1980年 静岡県静岡市生まれ  
1999年 関西高校卒業  
2003年 日本体育大学体育学部体育学科卒業  
特定医療法人徳洲会 徳洲会体操クラブ入部  
2012年 大阪大谷大学人間社会学部スポーツ健康学科専任講師に就任  
2014年 慶應義塾大学総合政策学部専任講師に就任  
主な戦歴：2001年 北京ユニバーシアード(団体) 銀メダル  
2002年 釜山アジア大会(団体) 銅メダル、(個人総合) 5位入賞  
2004年 アテネオリンピック(団体) 金メダル  
2005年 メルボルン世界選手権(個人総合) 銀メダル  
2006年 オーフス世界選手権(団体) 銅メダル  
アジア大会(団体) 銀メダル(個人総合) 銀メダル(鉄棒) 金メダル  
2007年 シュツットガルト世界選手権(個人総合) 銅メダル(ゆか) 銅メダル(鉄棒) 銅メダル  
2010年 広州アジア大会(団体) 銀メダル、(個人総合) 銅メダル

表 彰：紫綬褒章  
JOC スポーツ賞・年度賞 特別栄誉賞  
(体操競技男子団体チーム)  
JOC オリンピック特別賞(体操・男子団体総合)  
読売新聞・日本スポーツ賞 上月財団 上月スポーツ賞(2回)

体育・文化後援会

会費支援のお願い

体育・文化後援会理事長 今村 一徳

当会(体育文化後援会)は北嶺会会員及びPTAの皆様方により構成され、生徒達に確かな人間教育が受けられる様に支援活動を展開しています。

その主とする活動が部活動支援です。本校の部活動は大変活発であり優れた教育現場であり生徒達は部活動を通じ多くの事を学び多くの経験をしております。

当会の活動をご理解の上、何卒、より多くの皆様方からのご支援ご協力を伏してお願ひ申し上げます。また、北嶺会会員皆様には我が母校の後輩達の為に、地域の皆様・企業様へのご支援ご協力をお願いの活動も重ねてお願い申し上げます。

### ■平成二十七年 度 体育文化後援会 会計報告

#### 収入の部

科 目	決 算 額
1 会 費	1,336,230
(1)同窓会関係	619,230
(2)P T A	717,000
2 雑 収 入	3,927
3 北嶺会助成金	1,000,000
4 前年度繰越金	1,072,556
収入の部合計	3,412,713

#### 支出の部

科 目	決 算 額
1 管 理 費	13,508
2 運 営 費	3,293,951
(1)コ ー チ 費	771,783
(2)体育部助成金	1,126,513
(3)文化部助成金	98,532
(4)施設設備費	1,050,360
(5)表 彰 費	246,763
支出の部合計	3,307,459



# 北高だより

## 「幅広い活動を目指して」

校長 南 昌明



四月に校長として赴任した南です。前任の望月校長のように同窓生ではありませんが、精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いします。実は平成二十四〜二十六年度に副校長として、富士宮北高校に勤務させていたおりました。そのため二年ぶりの復帰と言うことになります。

この二年間離れていて、改めて北高の同窓会である北嶺会の大きさを実感しているとあります。前任の高校は生徒数七十七人の中山間地の小さな学校だった

たせいか、同窓会も頑張っていました。なかなかコンスタントに活動することはできませんでしたが、それに対してさすが北嶺会、北高のために、昨年度も北嶺館の維持・管理の支援、中央道並木道や校内樹木の保守、学校行事への参加、新入生への記念品贈呈、奨学金制度の実施など、幅広く活動していただき、学校も生徒も本当に助かっていただけです。

今年度も同様の北高への御支援とさらに創立八〇周年記念事業の成功に向けての活動をよろしくお願いたします。学校としても精一杯、教育活動に取り組んでいきたいと思っております。

さて今年度は、定員二四〇人より五人多い二四五人の新入生を向かえて、また新しい北高の歴史を作っていくこうと意欲を

持ってスタートしたばかりです。昨年度は、男子ソフトテニス部、陸上競技部、相撲部の三部が全国大会に出場し、また男子バレーボール部がビーチバレーで全国大会に出場し、運動部を中心に活気に満ちています。また商業科では富士のふもと産業教育フェアに参加して実践的な活動に取り組んでいます。さらに、富士宮高校会議所に参加するなど、校内だけではなく、校外でも活躍する北高生の姿が増えつつあります。海外交流としては、昨年の四月には台湾の高校生が来日した折に北高生との交流が実現して多文化理解を図ることができました。



蒼穹の像

■普通科 小泉 俊 妃  
私の高校での三年間は部活動に打ち込み続けた三年間でした。朝早くからの朝練や長期休みにある合宿での練習はとてもつらく厳しいものですが、支えてくれる周りの仲間がいたから乗り越えることが出来ました。二年の五月からは部長を任せ、部をまとめる仕事は、とても大変でしたが、たくさんのお話を聞くことが出来ました。また試合では県内外の選手達と競い合えることで、自分の競技力を向上させることができ、競技の楽しさを知ることが出来ました。自分を支えてくれた後輩や、先生方には感謝の気持ちで一杯です。

### 3年間を振り返って

■普通科 小坂 正 虎  
私の高校での三年間は、たくさんのお話を聞き、部活動に取り組み、勉強に励む大変ながらも、充実した三年間でした。部活動では、信頼できる顧問の先生や、良き友として、そして良きライバルとして共に過ごしてくれた同輩、頼もしい後輩と出会いました。また部活動では精神面、技術面、体力面、生活面などで多くの事を学びました。そのおかげで、私は率先して何かに取り組み、自分を高めようとする意欲を身に付けることが出来ました。インターハイでは、個人ベスト64という微妙な結果でしたが、後輩たちがすぐに追い抜いてくれると思うので期待しています。

また、たくさんのお話を聞くことが出来、修学旅行や体育祭、文化祭などの行事を通して絆を深めることが出来ました。

楽しいことばかりではなく、つらく苦しい事もありましたが、今となればそれらすべてが良い思い出です。たくさんのお話を聞き、乗り越えた北高での三年間は私にとって最高で、とても充実したものでした。

必要になる知識を多く勉強できる所、そういった場所が私に勉強し、就職や進学に役立てたいと思北高に入りました。そして三年間一生懸命に取り組み、学んだことを進学に活かして大学に合格できました。それもこれも生活を支えてくれた両親や、色々なことを教えてくれた先生方、友人たちのおかげだと思うので、本当に感謝しています。

# 平成二十八年度 進学・就職状況報告

## 進学

### 《大学等への進学》

今年度も、様々な大学・学部・学科に進学しました。自分自身の将来を思い描き、そのためにどこに進学するか、高校生にとって、大変難しい選択となります。偏差値の高い大学を卒業すれば、将来が保障されるという時代ではありません。変化する社会を生き抜くために何が大事か、生徒自身がそれぞれの答えを導き出すとする姿勢を育てることが、進路指導ではないかと考

えます。低学年からの学習習慣と、進路研究により、個々の進路が実現できるよう、今後も補習・模試・二者面談など様々な対策を続けていきます。

### 《専門学校への進学》

看護、医療系への進学が増加しています。医療に携わるためには、学力のみならず、相手を思いやる人間力や判断力が必要です。自己の適性を知るために校外体験活動への参加をすすめています。

## 就職

平成二十八年度は、全国的に景気が回復傾向にあり、雇用環境も改善されました。

本校においても昨年を上回る求人をお願いいただき、生徒にとっては恵まれた状況でした。(県内だけでも一人四社程度から選ぶことができました。)

九月十六日から入社試験が開かれ、二月あまりで就職希望者全員の内定をいただくことができました。公務員試験でも、静岡県警、幹部自衛官など採用倍率の高い試験をクリアする生徒もいました。

この結果は、生徒各人の文武両道での努力が評価されたことや雇用環境が改善されたことでもあります。同窓生の皆様が築かれてきた富士宮北高ブランドのお陰だと感謝しています。

今年度は、アメリカ合衆国の動静や中東問題など不安定要素が多く、雇用環境悪化への不安もあります。現状に満足することなく、生徒の適性や希望に応じた就職指導に取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 全国総体 出場



相撲部 団体戦



陸上競技部 [走高跳] 松井 大地



男子ソフトテニス部 団体戦 [個人戦]

小坂正虎・佐野洋介  
飯塚直人・後藤航太

## 部活動報告

### ●内定者の内訳

商業科	男子 23名	女子 19名
普通科	男子 9名	女子 4名
	合計 55名	

### ●主な就職先

アマダ・テルモ・IAI・エリエール・トヨタ・ジャトコ・パーパス・ピオンズ・日本プラスト・三生医薬・望月リング・大徳食品・静岡部品・ニッピコラーゲン・富士セラミックス・高尾製紙・ポリプラ・望月鉄工所・イハラニッケイ・日軽金・富士宮通運・ダイオーロジステックス・五十鈴中央・ミズバラエティ・日本郵便・さくら歯科・山本ヂーゼル・JR東海・マックスバリュー東海・富士宮信用金庫・富士信用金庫・JA富士宮・静岡県警・陸上自衛官など